

立命館経済学 第二十七卷総目次(昭和五三年度)

論 説

	号	頁
経済学史の意義とその方法(一)……………	上野俊樹	一(一)——三六(二六)
産業資本主義段階における近代的独占の存在形態(四)……………	若林洋夫	一(二九)——八九(八九)
——北東イングランド石炭独占の歴史的性格——	河野快晴	一(九〇)——三〇(三〇)
スタグフレーション分析に関する一試論……………	松川周二	一(六五)——二四(八八)
——OECDマクラッケン・グループ報告書によせて——	北野正一	二(二五)——九(三五)
景気循環における新旧技術の導入と廃棄について……………	若林洋夫	二(八九)——九(九五)
産業資本主義段階における近代的独占の存在形態(五・完)……………	岡崎栄松	三(一四七)——五(四六)
——北東イングランド石炭独占の歴史的性格——	松川周二	三(四六九)——六(四七六)
アダム・スミスの自然価格論について(上)……………	小檜山政克	四(一〇三)——一六(一二〇)
——生産価格論の学史的考察——	岡崎栄松	四(六二)——七(六七)
寡占企業の最適広告支出に関する小論……………	奥地正	四(六六)——二六(七〇)
労働価値論と需要供給の問題……………	杉野罔明	五(一七三)——三七(一九)
アダム・スミスの自然価格論について(中)……………		
——生産価格論の学史的考察——		
国有林における労働組織の形成と展開(三)……………		
——東北・秋田国有林を中心に——		
「地域主義」なるものへの批判……………		
——杉岡碩夫氏の所説について——		

アダム・スミスの自然価格論について(下)……………岡崎栄松 五……………三八(二〇)——九四(八七)

——生産価格論の学史的考察——

欧州経済通貨同盟の発展……………清水貞俊 六……………一九九——五七(九五)

国際価値論の諸論点について……………岩田勝雄 六……………五八(九七)——八五(一〇三)

国有林における労働組織の形成と展開(四)……………奥地正 六……………八六(一〇四)——一三〇(一三八)

——東北・秋田国有林を中心に——

研究

訓練付一時帰休の経済的基盤と諸結果……………三富紀敬 二……………九三(五六)——一四七(三一)

農協による経営受託……………木村一夫 三……………三六(四七)——一〇九(五五)

——大垣南機械化営農組合および第一機械化営農組合の場合——

価格決定機構と産業組織……………山本幹夫 三……………一一〇(五六)——一六一(五七)

——西陣織物工業の事例的研究——

行政事務再配分における総合化原則……………藤岡純一 五……………九五(七七)——一二三(八九)

——現代地方財政論序説——

研究ノート

J・K・ガルブレイス『不確実性の時代』考……………浜崎正規 三……………六二(五八)——一八四(六〇)

——主要著作との位置づけをめぐって——

現代資本主義の生産力発展段階……………坂本和一 六……………一一三(一〇三)——一三二(一四九)

資料

日本資本主義確立期の資本の存在形態(四)……………後藤靖 一……………三三(三三)——六三(六三)

日本資本主義確立期の資本の存在形態(六)	後藤 靖	二二四(三三)——二二三(三七)
日本資本主義確立期の資本の存在形態(七)	後藤 靖	四二二(九七)——二五(七七)

紹介

ステイヴン ルークス『社会科学における KEY CONCEPTとしての個人主義』	小野 進	二二二(三七)——二五(四四)
---	------	-----------------

翻訳

J・R・マカロック著『石炭税制改革論』(上)	若林 洋夫	五二二(八九)——二四(九六)
------------------------	-------	-----------------

共同研究室

昭和五三年度第一回研究会「ガルブレイスの 学説史方法論」	浜崎 正規	二二二(五〇四四)——二五(四四)
昭和五三年度第二回研究会「言語と文化比較」	猪谷 寛	二二二(五〇四四)——二五(四七)
昭和五三年度第三回研究会「アダム・スミスの 自然価格概念について」	岡崎 栄松	二二二(五〇四八)——二五(四八)
昭和五三年度第四回研究会「社会主義経済管理構造の 多様性をうみだすもの」	芦田 文夫	三二二(六〇〇)——二五(六二)
昭和五三年度第五回研究会「京都における 老舗の経営哲学」	足立 政男	三二二(六〇二)——二五(六二)
昭和五三年度第六回研究会「北東イングランド 石炭鉱業史研究の諸問題」	若林 洋夫	四二二(七六)——二五(七三)

昭和五三年度第七回研究会「資本蓄積と 流通必要金量」	竹味能成	四	一〇七六	一〇七六
「特別剰余価値・ 超過利潤・独占利潤」	佐々木秀太	四	一〇七六	一〇七六
昭和五三年度第八回研究会「価格決定と産業組織」	山本幹夫	五	一〇七七	一〇七七
「訓練付一時帰休の 経済的基盤と諸結果」	三富紀敬	五	一〇七七	一〇七七
昭和五三年度第九回研究会「資金運用部資金 制度についての一考察」	梅原英治	五	一〇七七	一〇七七
「行政事務再配分に おける総合化原則」	藤岡純一	五	一〇七七	一〇七七
昭和五三年度第十回研究会「現代資本主義の 生産力発展段階」	坂本和一	五	一〇七七	一〇七七
昭和五三年度第十一回研究会「一般消費税 導入をめぐる諸論点」	加藤睦夫	六	一〇七九	一〇七九
本年度会員業績		六	一〇七九	一〇七九